令和７年度 胆振総合振興局管内 河川減災対策・流域治水協議会

資料－５

情報提供等

気象台からの情報提供

〇３か月予報
〇日本の気候変動２０２５
〇面的気象情報の活用促進　デジタルアメダス
〇気象業務１５０年

室蘭地方気象台

○３か月予報

室蘭地方気象台

予報のポイント

暖かい空気に覆われやすいため、向こう３か月の気温は高いでしょう。

北海道地方　３か月予報（06月～08月）		
2025年05月20日14時00分 札幌管区気象台 発表		
06月～08月	気温	平均気温は、高い確率５０％です。
06月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。
07月	天候	北海道日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。北海道オホーツク海側・太平洋側では、平年と同様に曇りの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。
08月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。

気温、降水量の各階級の確率（%）

			低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	北海道地方	06月～08月	20	30	50
		06月	20	30	50
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	北海道地方	06月～08月	30	30	40
		06月	30	40	30
		07月	30	30	40
		08月	30	30	40

低い(少ない)　平年並　高い(多い)

令和７年５月２０日発表。次回は令和７年６月２４日１４時発表予定。

最新の3か月予報は、こちらからでも確認が可能です。

○日本の気候変動2025

室蘭地方気象台

文部科学省と気象庁は、日本の気候変動について、最新の観測結果や科学的知見をとり入れた『日本の気候変動2025 ―大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書―』を公表しました。

この報告書には本編、詳細編、概要版及び解説動画があります。国、地方公共団体、事業者等における気候変動対策の立案・決定や、普及啓発活動にご利用いただくとともに、幅広い世代の皆様が気候変動について考えるきっかけになれば幸いです。

「日本の気候変動2020」からの主な改善点 New!

「日本の気候変動2020」から評価等が更新された点 New!

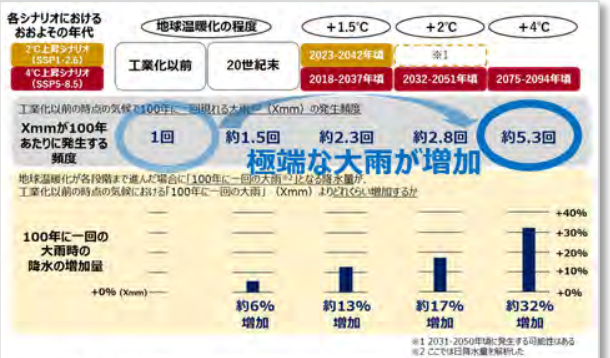


図１：100年に一回の極端な大雨の発生頻度と強度の変化

動画による解説

図２：100年に一回の極端な高温の発生頻度と強度の変化

○面的気象情報の活用促進　デジタルアメダス

室蘭地方気象台

デジタルアメダス

- 気象庁では、全国に約17km間隔で配置したアメダスの観測値に加え、気象衛星ひまわりや気象レーダー等の観測成果を組み合わせて、全国の降水量や気温、天気などを1km四方の格子状に分割して隙間なく解析（推定）した情報（以下、「面的気象情報」という。）を作成しています。
- 気象庁では、開発した「デジタルアメダスアプリ」を、令和６年４月より北海道を対象として一般公開していましたが、令和７年４月25日（金）より全国に対象を拡大して運用しました。
- 「デジタルアメダスアプリ」を通じて、様々な地域の気象特性に応じた面的気象情報の活用方法や課題等を調査し、デジタル社会の基盤的な気象データとして様々な社会・経済活動に活用されるよう、更なる活用促進に取り組んでまいります。

デジタルアメダスの概要

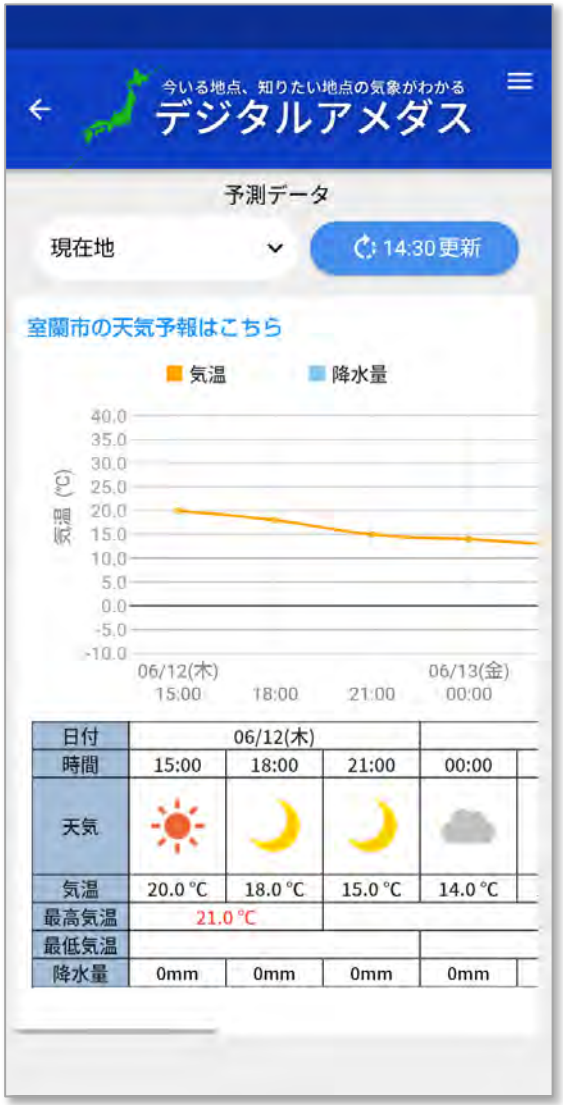
○気象情報の改善

●アプリのダウンロードサイトへのアクセス

iPhoneをお使いの方はApp Storeから、Androidをお使いの方はGoogle Playから「デジタルアメダス」を検索して下さい。下記QRコードからもサイトにアクセスいただけます。

iPhoneを
お使いの方

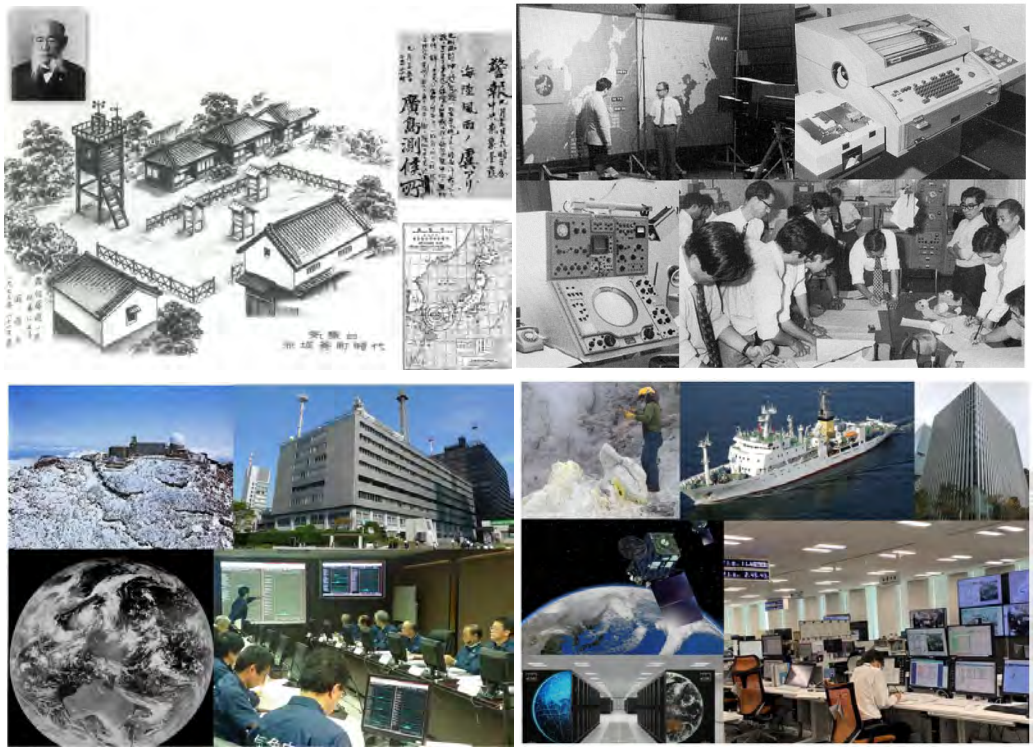
Androidを
お使いの方



○気象業務150年

歩み続けて150年

防ぐ災害・守る未来



気象庁ホームページ
気象業務150周年特設サイト

気象庁は、前身である東京気象台が明治８年（1875 年）に観測業務を開始して以来、令和７年（2025 年）で 150 年を迎えます。
気象業務のこれまでの発展の歴史と、これからの未来に向けて前進する姿を一人でも多くの方に知ってもらうための一環として、気象業務 150 周年を記念したロゴマーク及びキャッチコピーを定めました。

ロゴマーク及びキャッチコピーは、気象庁における各種イベントをはじめ、報道発表資料や講演資料等の媒体で広く使用する他、気象業界全体・社会全体で気象業務 150 周年の機運を高めるツールとして活用します。